

2019年度

取組実績 (2020年2月末時点)

1. 開発者と利用者との協働体制の構築

- (1) あいちロボット産業クラスター推進協議会の運営
 - 協議会会員数：518社・団体（新規加入28社・団体）
 - ▷ 総会：6月11日開催（参加者数：169名）
 - ▷ ワーキンググループ：9回開催（参加者数：延べ243名）
- (2) あいちサービスロボット実用化支援センターの運営
 - ・利用実績：相談件数100件、見学者数469名

2. 研究開発や実証の促進

- (1) 知の拠点あいち重点研究プロジェクトⅢ期
 - ・ロボット関連研究テーマ：2件（全26件の研究テーマ中）
- (2) 新あいち創造研究開発補助金による支援
 - ・採択件数：全83件のうちロボット分野4件
- (3) サービスロボット実用化支援補助金による支援
 - ・採択件数：7件
- (4) ドローン等の実証実験場の提供（愛・地球博記念公園、名古屋港南5区、矢作川浄化センター）
 - ・利用実績累計：延べ64社・471回（2019年度：延べ15社・81回）
- (5) 近未来技術等社会実装事業
 - (ア) 介護・リハビリ支援ロボットの医療機関での社会実装に向けた体制構築（藤田医科大学と連携）
 - (イ) 山間部等における無人飛行ロボットを活用した荷物輸送等の実証実験
 - (ウ) サービスロボットの空港でのサービスロボットの導入に向けた実証実験

3. 人材育成

- (1) 安全技術開発の支援（リスクアセスメント研修会の実施）
- (2) 産業用ロボット導入支援研修の実施
 - ・全9日間（参加数：20社、20名）

4. ロボットユーザーの創出・情報発信

- (1) 介護ロボット出張デモ
 - ・件数：11件（成果：介護施設6施設等が介護ロボット試用）
- (2) 展示会への出展支援
 - ・名古屋ロボテックス（9/18～20@ポートメッセなごや 5社）
 - ・ロボットシンポジウム2020（2/5～2/6@吹上ホール 6社）
- (3) 産業用ロボット導入支援研修の実施（再掲）

5. ロボット国際大会の推進

- (1) ロボカップアジアパシフィック2020あいち・ワールドロボットサミット2020開催に向けた気運醸成
 - ▷ 開催委員会、部会の開催、大会運営計画作成
 - ▷ 一年前イベント、地域イベント（2か所）の開催
 - ▷ ロボット導入現場や関連施設等の見学ツアーの開催
 - ▷ 県内チーム強化支援（支援5チーム）
 - ▷ レガシーとなるロボット競技会の構想検討
- (2) ロボカップジャパンオープンの開催
 - ・2020年3月20日～22日に開催（@Aichi Sky Expo）

新型コロナウイルス感染症の感染拡大の状況等を踏まえ、開催中止を決定

2020年度

取組内容

1. 開発者と利用者との協働体制の構築

- ▷ あいちロボット産業クラスター推進協議会の運営・PR
- ▷ あいちサービスロボット実用化支援センターの運営

2. 研究開発や実証の促進

- ▷ 知の拠点あいち重点研究プロジェクトⅢ期
- ▷ 新あいち創造研究開発補助金
- ▷ サービスロボット実用化支援補助金
- ▷ ドローン等の実証実験場の提供
- ▷ 近未来技術社会実装事業
 - ・介護・リハビリ支援ロボットの医療機関での実用化を支援
 - ・山間部等における無人飛行ロボットを活用した荷物輸送等の社会実装モデルの策定
 - ・サービスロボットの中部国際空港等の施設での導入に向けた実証実験と、“ショーケース”としての活用状況の披露

3. 人材育成

- ▷ 安全技術開発の支援
- ▷ 産業用ロボット導入支援研修の実施

4. ロボットユーザーの創出・情報発信

- ▷ 介護ロボット出張デモ
- ▷ 展示会への出展支援
- ▷ 産業用ロボット導入支援研修の実施（再掲）

5. ロボット国際大会の推進

- ロボカップアジアパシフィック2020あいち・ワールドロボットサミット2020の開催及び気運醸成
 - ▷ ロボカップアジアパシフィック2020あいち及びワールドロボットサミット2020の開催
 - ▷ 競技に参加する県内チームの強化支援
 - ▷ レガシーとなるロボット競技会の実施計画の策定

第7回委員会の論点

1. 人材の育成・確保について

- ・ロボットと導入現場を繋ぐ人材（システムインテグレーター等）
- ・現場でロボットを活用する人材
- ・ロボットを製造する人材などの育成・確保に係る方策

2. 研究開発の促進について

- 研究開発を実施する上での課題や促進するための方策など